

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年12月5日（木）

2 確認箇所

- ・陸側遮水壁6BLK（ブロック）付近（3、4号機原子炉建屋西側（山側））
- ・サブドレンピットNo. 208（1/2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- （1）陸側遮水壁表層部断熱対策工事の状況
- （2）サブドレンピットNo. 208の復旧工事の状況

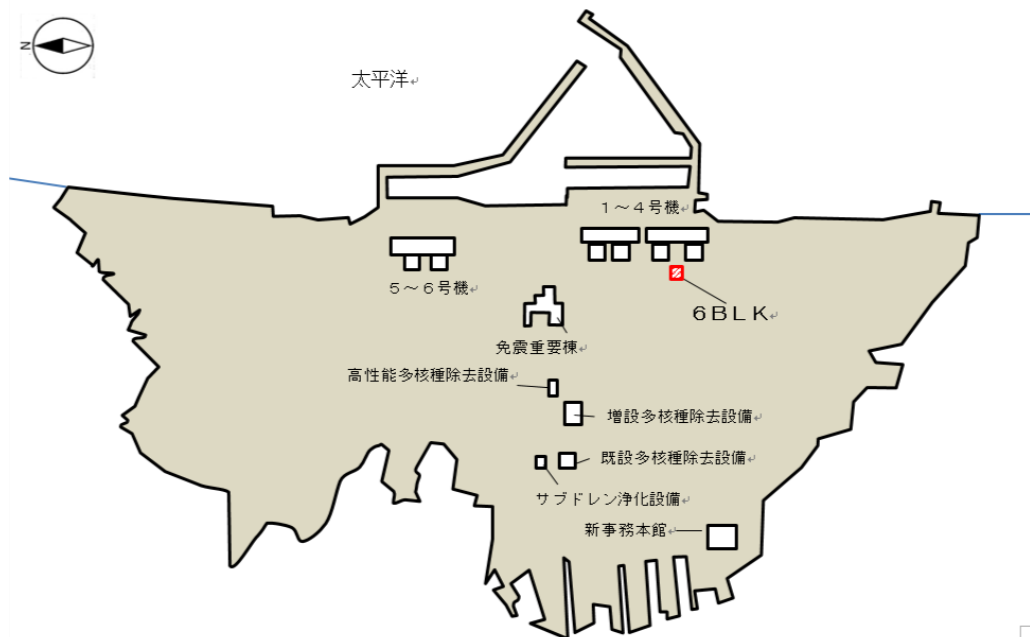
4 確認結果の概要

（1）陸側遮水壁表層部断熱対策工事の状況について

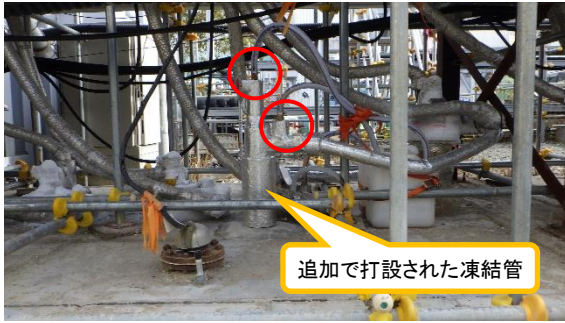
陸側遮水壁では夏期に地表部の大きな温度上昇や地中温度低下停滞が発生することから、断熱対策として凍結管追加打設工事が行われている。

本日は当該打設工事の状況を確認するとともに、東京電力から工事の詳細について聞き取りを行った。

- ・直近で工事が行われた6BLK付近を確認したところ、新たに凍結管が打設されており、ブライン供給ホースが接続されていた。（写真1）
- ・東京電力によると、追加で打設する凍結管は全部で13本であり、そのうち7本が工事を完了しているとのこと。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
 東側から撮影
 赤丸部分がブライン供給ホース接続部分

(2) サブドレンピット No. 208 の復旧工事の状況について

昨日(12月4日)、1/2号機共用排気筒の4ブロック目の解体が完了し、解体後にサブドレンピット No. 208 の復旧工事が行われる予定であったことから、当該復旧工事の状況を確認した。

- ・現場確認時にはクレーンが排気筒解体工事に設置された位置より南側に数m移動しており、複数の作業員がサブドレンピット No. 208 近傍で作業を行っており、復旧工事が着手されていた。(写真2)
- ・昨日解体された4ブロック目はクレーン近傍に仮置きされていた。(写真2)



(写真2)
 クレーンの移動により、鉄板にキャタピラー跡がついていた

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。